

令和元年度畜産経営診断指導事業

# 令和元年度畜産経営指導実施結果

令和2年3月

公益社団法人 新潟県畜産協会

# 目 次

○ 実施状況の概要	1
○ 指導対象経営の概要	2
○ 畜種別指導実施結果の概要	3
○ 参考資料	11



○ 指導実施戸数

(単位:戸)

区 分		酪 農	肉用牛	養 豚	合 計
総合指導	通常指導	4	6	3	13
	スポットコンサル	1	1	3	5
ワンポイント指導	通常指導	4	2	1	7
	自己診断指導	-	-	1	1
合 計		9	9	8	26

2 指導対象経営の概要

(1) 経営形態

令和元年度に指導を実施した 26 戸の後継者就農、飼料用米利用、自給粗飼料生産の状況は下表のとおりであった。

各畜種とも後継者就農の割合は 5 割を超えており、養豚経営では全戸が就農していた。

飼料用米利用は 23%であり、各畜種とも利用割合が低い傾向がみられた。

自給粗飼料生産(稲わら含む)は、肉用牛は繁殖経営・肥育経営ともに全戸が取り組み、酪農経営では 4 割を超える 4 戸で取り組んでいた。

なお、主要な診断実績数値を新潟県畜産経営指導指標値(平成 26 年度改訂)と対比して「参考資料」として 10 ページ以降に掲載した。

○ 指導対象経営の経営形態

(戸、%)

区 分	酪農経営	肉用牛経営		養豚経営	合 計
		繁殖経営	肥育経営		
指 導 実 施 戸 数	9	5	4	8	26
後継者就農戸数	6	3	2	8	19 (73.1)
飼料用米利用戸数	3	0	1	2	6 (23.1)
自給粗飼料生産戸数	4	5	4		13 (50.0)

(注)自給粗飼料生産戸数の合計は酪農経営、肉用牛経営戸数に対する比率で示した。

### 3 畜種別指導実施結果の概要

令和元年度は、乳価及び豚枝肉についてはほぼ前年並みで堅調に推移していたが、酪農経営は技術的な課題が多く、所得が低下傾向であった。また、牛枝肉価格はほとんどの月で前年同月を下回り、特に12月以降の下落が顕著であるものの、肉用牛肥育経営の所得率は県指標値を上回っていた。

調査・分析の結果に基づき問題点を整理すると、技術レベルに課題がある経営が多いことから、各事例の技術、経営レベルを判断するために新潟県畜産経営指導指標と比較した。

各指標値の達成度は以下のとおりであり、今後、改善が必要な課題項目を明確化した。

なお、技術管理指標は総合指導とワンポイント指導を実施した全事例、経営管理指標は総合指導を実施した事例を記載した。

#### (1) 酪農経営（総合指導5戸、ワンポイント指導4戸）

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				～80%	80～90%	90～100%	100～110%	110%～	
技術管理	経産牛平均種付回数	回	2.0以内	0	●●●●●●●●●●	●	●		
	経産牛平均分娩間隔	ヶ月	14.0以内	0	●●	●●	●●●●●●●●		
	経産牛平均産歴	回	3.5以上	0	●●●●●●●●	●●●●●●●●			
	経産牛1頭当り産乳量	kg	9,500以上	11.1	●●	●●●●	●●●●	●	
	体細胞数	千個	160以下	11.1	●●●●●●●●	●	●●	●	
	乳飼比	%	50以下	11.1	●●	●●	●●●●		●
経営管理	所得率	%	15以上	40.0	●●●●			●	●
	経産牛1頭当り飼養管理時間	時間	120以下	0	●●●●●●●●				

※乳飼比については8事例を記載した。(1事例について繁殖部門のみの取りまとめであったため)

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
経産牛平均種付回数	2.0回以内	0	<p>分娩後の初回授精による受胎率が20%程度と低迷し、2回目以降の受胎率が低いことが原因である。</p> <p>発情観察の強化による適期授精のほか、飼料中の粗濃比の見直しによる粗飼料給与量の増量、繁殖障害牛に対する早期治療が重要である。</p>

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
経産牛平均分娩間隔	14ヶ月以内	0	<p>分娩後初回授精まで90日以上の経営が3/4を占めており、初回授精の遅れが主な要因である。</p> <p>分娩後の子宮回復の遅れを防ぐため、泌乳後期から乾乳期にかけての飼養管理の強化と、暑熱対策を始めとした飼養環境の改善、繁殖障害牛に対する早期治療が重要である。</p>
経産牛平均産歴	3.5産以上	0	<p>1戸を除いた全ての経営で経産牛処分率が20%を超えており、産歴が向上しない原因となっている。</p> <p>処分牛の半数は計画的更新でなく死廃事故によるものであり、定期的な検診の実施による疾病の早期発見と治療、分娩前後の移行期における飼養管理の強化を図ることが重要である。</p>
経産牛1頭当り産乳量	9,500kg以上	1戸	<p>乳房炎の発生、分娩後事故と分娩間隔伸長による牛群の搾乳日数の伸長、暑熱ストレスによる1頭当たり乳量の減少が乳量低迷の主な原因である。</p> <p>日常管理の強化による乳房炎発生の防止・発情発見率の向上による分娩間隔の短縮と、死廃事故発生の防止によって経産牛平均産歴3.5産以上の牛群を整備することが重要である。</p>
体細胞数	160千個以下	1戸	<p>乳房炎の発生が原因である。</p> <p>日常搾乳時のプレ、ポストディッピング等搾乳衛生対策の実行による発生の防止、分房ごとの定期的な乳房炎検査の継続、乳房炎牛に対する有効薬剤による搾乳・乾乳時の治療、清潔な飼養環境の整備による環境性乳房炎発生の防止が重要である。</p>

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
乳 飼 比	50%以下	1戸	<p>自給飼料を生産していない又は収量が低い経営や、経産牛1頭当り産乳量が7,000kg台と低い経営、給与飼料の充足率が過剰であり飼料の無駄が見られる経営は乳飼比が高く、指標値を達成できた経営は1戸にとどまった。</p> <p>経産牛1頭当たり乳量向上による生乳販売代金の増加と、自給飼料の収量向上、食糧残さなど安価な飼料の模索、個体別の適正給与の徹底による飼料費の削減を図ることが重要である。</p>
所 得 率	15%以上	2戸	<p>所得率の低い事例は体細胞数の増加および分娩間隔の伸長によって経産牛1頭当り産乳量が低く生乳販売収入が少なかったことが原因であり、乳房炎対策と繁殖管理の徹底が重要である。</p>
経産牛1頭当り 飼養管理時間	120時間以下	0	<p>後継者の就農により、労働力が増加したが、飼養規模を拡大できないことが大きな原因である。</p> <p>安定的な後継牛の確保と事故牛発生防止による計画的な規模の拡大と、飼養管理の強化によって、労働時間に見合う所得を確保することが必要である。</p>

(2) 肉用牛繁殖経営（総合指導4戸、ワンポイント指導1戸）

指標項目		単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)				
					~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~
技術管理	平均産歴	産	7.0以上	0	●●●●		●		
	平均分娩間隔	ヶ月	12.0以下	20		●	●●●	●	
	受胎に要する種付回数	回	1.5以下	60		●●		●●	●
	雌子牛販売時体重	kg	260以上	60	●	●		●●	
	雄子牛販売時体重	kg	295以上	20	●		●●●		●
	子牛事故率	%	3.0以下	40	●●●				●●
経営管理	所得率	%	30.0以上	50	●		●		●●
	減価償却費対売上高比率	%	15.0以下	25	●●	●			●

※雌子牛販売時体重は、雌子牛販売のない1戸を除く4戸について記載した。

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
平均産歴	7.0産以上	0	指標値を達成した事例はなかった。繁殖牛の長期連産を図るため、飼養管理の改善等、繁殖技術レベルを高める必要がある。
平均分娩間隔	12.0か月以下	1戸	指標値を達成した事例は1戸のみであり、また、指標値から1か月程度延長している事例が2戸あった。 観察強化による適期授精の他、育成牛の肥満防止や繁殖牛の分娩前後の適切な増飼い等、飼養管理の改善により短縮を図る必要がある。
子牛事故率	3.0%以下	1戸	事故の発生が0の事例が2戸あったものの、他は80%未満の達成割合となった。 子牛の飼養管理や観察強化による異常の早期発見・対処に努めるとともに、虚弱な子牛とならないよう分娩前後の母牛の管理の見直しや、牛舎環境の衛生対策の徹底が必要である。



課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
減価償却費対売上高比率	15.0%以下	1戸	指標値を達成した事例は1戸のみであった。達成しなかった事例の中には、30%を超えているものもあり、特に自給粗飼料費のコスト増につながっているため、計画的な投資や機械導入に係る事業の活用による自己負担の軽減といった対策が必要である。

(3) 肉用牛肥育経営（総合指導3戸、ワンポイント指導1戸）

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	出荷月齢	ヶ月	28.0以内	0			●●●●		
	枝肉重量	kg	490以上	100				●●●●	
	1日当たり増体重	kg	0.85以上	25			●●●	●	
	枝肉格付4等級以上率	%	80.0以上	100					●●●●
	事故率	%	2.0以下	50	●●			●	●
経営管理	所得率	%	6.0以上	100				●●●	

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
出荷月齢	28ヶ月以内	0	指標値を達成した事例はなかった。 コスト低減を図るためにも、育成期の腹作りや肥育前期における飼料増給、衛生管理の徹底等により、増体量の向上を図り、出荷月齢を早める必要がある。

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
1日当り増体量	0.85kg以上	1戸	指標値を達成した事例は1戸のみであった。 育成期・肥育前期の飼料給与体系の見直しや、衛生管理の徹底の他、群飼において採食量の偏りが生じないような取組等、給餌方法や牛舎環境の整備といった対策も必要である。
事故率	2.0%以下	2戸	指標値を達成したのは2戸のみであった。 日常観察の徹底による異常の早期発見及び対策の早期実行が必要である。特に導入直後の疾病発生が多ことから、導入前後のワクチン接種を実施するとともに、導入牛の隔離や、牛舎が複数ある場合は入り口ごとに踏込消毒槽を設置する等、外部からの病原体の侵入防止はもちろん、農場内での拡散防止対策も必要である。

#### (4) 養豚経営（総合指導6戸、ワンポイント指導2戸）

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	1腹当り分娩頭数	頭	12.0以上	87.5			●	●●●●●	●●●●
	1腹当り離乳頭数	頭	9.9以上	62.5			●●●●	●●●●	●●
	離乳時育成率	%	90以上	25.0			●●●●● ●●	●●	
	離乳～受胎平均日数	日	12以内	0	●●●●● ●	●●●●			
	分娩間隔	日	150以内	0		●	●●●●● ●●●●		
	年間換算離乳子豚頭数	頭	24以上	37.5			●●●●● ●	●●●●	
	肉豚期間平均事故率	%	5以下	16.7	●●●●●	●			●
	種雌豚1頭当り肉豚出荷頭数	頭	22.8以上	16.7	●	●●	●●	●	
経営管理	自己資本比率	%	50以上	50.0	●●●●				●●●●
	所得率	%	10以上	83.3	●			●●	●●●●

※ワンポイント指導は繁殖成績のみ記載した。

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
離乳時育成率	90%以上	2戸	<p>指標値を達成した事例は2戸のみであった。</p> <p>育成率が低い事例では、子豚の栄養管理を徹底する必要があるほか、圧死防止対策として気性が荒い母豚の管理徹底、分娩豚舎の適正温度の設定や保温箱の確実な利用などを図る必要がある。</p>
離乳から受胎平均日数	12日以内	0	<p>最も改善の遅れている技術項目のひとつであり、指標値を達成した事例はなかった。</p> <p>離乳後の発情再起の遅れが主要因であり、授乳期の母豚が栄養不足にならないよう管理する必要がある。</p> <p>特に長期化が目立つ事例では、若齢豚の成績不良による早期淘汰及びそれに伴う老齢豚更新の遅延（優良育成豚の選抜）、母豚の管理観察強化など基本的事項の徹底を図る必要がある。</p>
分娩間隔	150日以内	0	<p>前述の離乳から受胎平均日数を短縮することに加え、授乳子豚の栄養管理・飼養管理を適切に実施して発育遅延を防ぎ、平均哺乳日数の短縮を図る。</p> <p>人工授精を実施している事例では、発情の見逃しを防ぐための管理・観察の徹底、適期受精、人工受精技術の向上等を図る必要がある。</p>
肉豚期間平均事故率	5%以下	1戸	<p>指標値を達成した事例は1戸のみであった。</p> <p>事故率が高い事例では、疾病の原因特定と治療のほか、老朽化した豚舎の衛生状況改善、豚舎の換気や水洗・消毒の強化、ワクチンプログラムの見直しが必要である。</p> <p>また、離乳時の発育遅れが多発していたため、授乳中の栄養管理から見直すことも重要となる。</p>

課 題 項 目	指標値	指 標 値 達成戸数	課題と対策
種雌豚 1 頭当り肉豚出荷頭数	22.8 頭 以上	1 戸	<p>指標値を達成した事例は 1 戸のみであった。</p> <p>子豚保温対策、肉豚の衛生対策の徹底、密飼の解消等により事故率の低減を図り、肉豚出荷頭数を増加させる必要がある。</p> <p>また、種雌豚の資質低下による分娩頭数の減少、分娩子豚の体重のバラツキなども散見されたことから、農場独自の淘汰基準を設定することも重要である。</p>

# 参 考 资 料

酪農経営 1

区 分				指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号					
							1	2	3	4	5	
診 断 期 間							H30.9.1～ R1.8.31	H31.1.1～ R1.12.31	H30.8.1～ R1.7.31	H30.8.1～ R1.7.31	H30.9.1～ R1.8.31	
技 術 管 理 成 績	規 模	飼 料 畑	a		693	0	0	688	0	693	0	
		經 産 牛 頭			42.1	24.6	42.1	39.0	36.7	32.6	24.6	
	乳 牛	經 産 牛 平 均 産 歴	産		3.5以上	2.9	2.4	2.9	2.4	2.5	2.9	2.7
		經 産 牛 平 均 分 娩 間 隔	月		14.0以内	17.2	14.6	17.2	15.5	15.2	15.2	14.6
		經 産 牛 平 均 種 付 回 数	回		2.0以内	3.6	2.2	3.1	3.5	3.6	2.2	3.0
		經 産 牛 処 分 率	%			44.7	11.7	11.7	38.5	32.7	30.7	44.7
	生 乳 体	搾 乳 牛 1 頭 当 り 産 乳 量	kg			11,404	8,021	8,021	9,466	8,382	11,404	9,558
		經 産 牛 1 頭 当 り 産 乳 量	kg		9,500以上	10,304	7,214	7,214	8,755	7,628	10,304	8,085
		濃 厚 飼 料 1kg 当 り 産 乳 量	kg			3.53	1.65	2.14	2.06	2.03	1.65	3.53
		脂 肪 率	%		3.8以上	4.00	3.79	4.00	3.98	3.92	3.79	3.81
		無 脂 固 形 分 率	%		8.8以上	8.82	8.58	8.66	8.82	8.76	8.73	8.58
		体 細 胞 数	千個		160以下	251	148	165	179	251	231	148
	飼 料 給 与	經 産 牛 1 頭 当 り 濃 厚 飼 料 給 与 量	kg		3,600	6,260	2,292	3,362	4,212	3,756	6,260	2,292
		經 産 牛 1 頭 当 り 粗 飼 料 給 与 量	kg		5,220	6,697	2,393	3,191	5,107	5,033	2,393	6,697
		給 与 養 分 率	C P %			128.1	93	92.7	119.8	128.1	121.6	109
給 与 充 足 率		T D N %			117.5	92	92.0	117.5	115.5	104.8	108	
体 重 に 対 す る 給 与 割 合		全 給 与 粗 飼 料 %			4.1	2.8	2.8	4.1	3.5	3.7	3.8	
					2.8	1.0	1.3	2.2	2.0	1.0	2.8	

酪農経営2

区 分			指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号					
						1	2	3	4	5	
技 術 管 理 成 績	飼 料	経産牛1頭当り作付実面積	a	21.8	17.6	-	17.6	-	21.8	-	
		T D N 自給率	%	11.9	0	0.0	11.9	0.0	6.4	0.0	
	生 産	10 a 当り収量	青刈作物	kg	-	-	-	-	-	-	-
			永年牧草	kg	5,000以上	4,160	4,160	-	-	-	4,160
	成 績	1kg 当り生産費	生 草	円	-	-	-	-	-	-	-
			埋 草	円	34.40	34.40	-	-	-	34.40	-
			乾 草	円	-	-	-	-	-	-	-
	労 働	経産牛1頭当り飼養管理時間	時間	120.0	375.8	175.7	247.1	223.8	199.2	375.8	175.7
		10 a 当り飼料栽培時間	時間	8.0	7.2	7.2	-	-	-	7.2	-
	経 営	出 荷	生乳1kg 当り販売単価	円	132.81	132.10	132.67	132.24	132.10	132.81	132.11
生 産 原 価			生乳1kg 当り	生産原価	円	160.59	127.77	147.95	127.77	136.52	136.52
			総原価	円	177.10	148.28	177.10	147.44	153.64	151.59	172.39
		自家労賃控除後	総原価	円	130.13	98.83	123.98	109.24	114.47	93.47	141.92
管 理 成 績	所 得	経産牛1頭当り所得	円	350,088	▲ 12020	62,637	201,568	133,116	350,088	▲ 12020	
		1日当り所得	円	31,268	▲ 810	7,225	21,537	13,385	31,268	▲ 810	
		労働1時間当り所得	円	932	▲ 68	253	901	668	932	▲ 68	
		経産牛1頭当り所得 (子牛販売収入控除)	円	203,656	▲ 162485	4,442	64,444	30,540	203,656	▲ 162485	
		所得率	%	15以上	23.1	▲ 1.0	6.0	15.4	11.6	23.1	▲ 1.0
全 性	安	乳 飼 比	%	50以下	73.5	43.1	53.5	50.7	57.5	43.1	73.5
		うち経産牛当りの乳飼比	%	45以下	57.2	40.8	45.0	40.8	56.2	40.9	57.2
		自給飼料費加算乳飼比	%		57.2	42.2	45.0	55.5	56.2	42.2	57.2
	全	支払利息対売上高比率	%	2以下	1.2	0.2	0.4	0.9	1.2	0.2	0.6
		減価償却費対売上高比率	%	15以下	10.9	10.0	10.9	10.3	10.9	10.0	10.9
		自己資本比率	%	50以上	74.5	▲ 47.2	66.0	34.9	▲ 47.2	74.5	▲ 33.1
		流動比率	%	200以上	443.2	28.9	207.3	268.9	28.9	126.1	443.2
性	経産牛1頭当り固定資産額	千円		480	238	373	238	306	422	480	
	経産牛1頭当り負債額	千円		1,335	181	181	584	638	338	1,335	

肉用牛繁殖経営 1

区 分			指標値	最大値	最小値	経営体番号						
						1	2	3	4	5		
診 断 期 間						31.1.1~ 1.12.31	31.1.1~ 1.12.31	30.10.1~ 1.9.30	30.6.1~ 1.5.31	30.7.1~ 1.6.30		
技 術	規 模	繁殖牛飼養規模	頭		36.1	4.7	36.1	33.2	16.7	13.3	4.7	
		繁殖牛1頭当り飼料畑面積	a		48.9	15.5	45.0	48.9	19.8	48.9	15.5	
	繁 殖	平均産歴(供用産歴)	産	7.0以上	6.5	2.8	6.5	4.5	3.3	2.8	3.0	
		平均分娩間隔	ヵ月	12.0以下	13.5	11.9	11.9	13.5	12.1	12.4	12.8	
		受胎に要する種付回数	回	1.5以下	1.8	1.3	1.5	1.8	1.8	1.5	1.3	
管 理 成 績	子 牛	ET含年間子牛生産頭数	頭		36.0	4.0	36	27	15	10	4	
		ET含年間子牛販売頭数	頭		25	2	25	15	12	8	2	
	育 成	雌 子 牛	販売時日齢	日		276	228	240	276	228	242	-
			販売時体重	kg	260以上	280	196	228	280	196	265	-
			日齢体重	kg		1.09	0.86	0.95	1.02	0.86	1.09	-
	績	雄 子 牛	販売時日齢	日		267	208	260	267	225	233	208
			販売時体重	kg	295以上	296	226	283	276	226	268	296
日齢体重			kg		1.43	1.01	1.09	1.04	1.01	1.21	1.43	
		子牛事故率	%	3.0以下	23.1	0.0	5.9	14.8	23.1	0	0	
販 売	雌 子 牛	販売価格	円		645,840	523,800	617,520	575,804	523,800	645,840	-	
		雄子牛販売価格	円		869,321	684,855	869,321	791,062	684,855	788,857	829,980	
		平均	円		849,177	631,170	849,177	719,309	631,170	757,076	829,980	



肉用牛繁殖経営2

区 分		指標値	最大値	最小値	経営体番号					
					1	2	3	4	5	
技術 管理 成績	飼料	繁殖牛1頭当り	濃厚飼料 kg	1.7	1.0	1.7	1.6	1.0	1.0	1.7
		1日当り量	粗飼料 kg	10.2	4.6	5.4	4.6	10.2	7.3	9.6
		計	kg	11.3	6.2	7.1	6.2	11.2	8.3	11.3
	給与	1日当り	飼料費 円	600	239	393	345	443	239	600
		年間	円	219,000	87,235	143,445	125,925	161,695	87,235	219,000
		粗飼料自給率 %	%	98.3	26.9	70.4	92.0	26.9	98.3	93.3
	子牛1頭当り	濃厚飼料 kg	3.3	1.3	3.3	2.4	2.5	2.6	1.3	
		1日当り量	粗飼料 kg	4.5	0.7	1.4	0.7	1.6	1.6	4.5
		計	kg	5.8	3.1	4.7	3.1	4.1	4.2	5.8
	飼料	1日当り	飼料費 円	382	242	382	295	348	242	367
年間		円	104,515	66,211	104,515	80,712	95,213	66,211	100,411	
原価	自家労賃控除後	生産原価 円	734,264	286,934	286,934	305,299	734,264	514,352	-	
		総原価 円	672,270	318,653	318,653	339,555	672,270	390,790	-	
所得	繁殖牛1頭当り所得	円	305,668	▲ 29,533	305,668	110,211	▲ 29,533	263,592	-	
	所得率	%	30.0以上	47.3	▲ 6.5	46.9	29.1	▲ 6.5	47.3	-
安全 性	支払利息対売上高比率	%	4.0以下	0.0	0.0	0	0	0	0	-
	減価償却費対売上高比率	%	15.0以下	36.3	10.8	10.8	17.9	36.3	33.9	-
	自己資本比率	%	50.0以上	99.4	85.3	85.3	96.7	98.8	99.4	-
	流動比率	%	100.0以上	3,710.0	1,335.0	1335.0	2181.7	2,867.0	3,710.0	-
	繁殖牛1頭当り資産額	千円	1285	736	1,105	736.0	1,014	1,285	-	
	繁殖牛1頭当り負債額	千円	162	8	162	25.0	12	8	-	

肉用牛肥育経営 1

区 分				指標値	最大値	最小値	経営体番号				
							1	2	3	4	
診 断 期 間							31.1.1~ 1.12.31	31.1.1~ 1.12.31	31.1.1~ 1.12.31	30.11.1~ 1.10.31	
技 術 管 理 成 績	規 模	肥 育 牛 飼 養 規 模		頭		115.0	39.9	115.0	93.9	71.4	39.9
		肥 育 牛 1 頭 当 り 勞 働 時 間		時間		82.8	18.8	18.8	49.1	41.2	82.8
	育 技 術 成 績	期 間 販 売 頭 数		頭		65	24	54	65	38	24
		去 勢 牛 ( か っ こ 内 は 雌 の 成 績 )	出 荷 頭 数	頭		62	19	54	62(3)	38	19(5)
			出 荷 月 齡	ヵ月	28.0以内	30.7	28.5	28.5	30.2(29.8)	30.7	29.8(30.1)
			肥 育 日 数	日	570以内	739	642	739	653(645)	647	642(663)
			出 荷 体 重	kg	780以上	847	811	847	811(600)	811	813(737)
			枝 肉 重 量	kg	490以上	536	513	536	514(380)	513	514(466)
			1 日 当 り 増 体 重	kg	0.85以上	0.93	0.78	0.93	0.78(0.53)	0.79	0.81(0.72)
	枝 肉 格 付 4 等 級 以 上 率	%	80.0以上	100	89.8	100	89.8(66.7)	94.7	100(80.0)		
	事 故 率		%	2.0以下	5.0	0.0	3.6	1.6	5.0	0	
	販 売	販 売 牛 1 頭 当 り 価 格		円		1,445,251	1,381,277	1,381,277	1,419,544	1,431,020	1,445,251
		枝 肉 1 kg 当 り 価 格		円		2,866	2,577	2,577	2,800	2,789	2,866
飼 料 給 与	肥 育 牛 1 頭 1 日 当 り 給 与 量	濃 厚 飼 料	kg	7.7	8.3	6.5	7.3	6.5	8.3	7.7	
		粗 飼 料	kg	2.3	2.7	1.5	2.0	2.7	1.5	2.6	
		計	kg	10.0	10.3	9.2	9.3	9.2	9.8	10.3	
	飼 料 要 求 量		kg	11.8	13.0	10.0	10.0	11.9	12.4	13.0	
飼 料 費	1 日 当 り		円		578	375	436	375	578	535	
	増 体 1 kg 当 り		円		732	469	469	487	732	677	

肉用牛肥育経営2

区 分			指標値	最大値	最小値	経営体番号				
						1	2	3	4	
経 営	原 価	販売牛1頭当り素畜費	円	792,740	620,990	620,990	-	792,740	774,620	
		販売牛1頭当り生産原価	円	1,324,080	1,140,682	1,140,682	-	1,286,925	1,324,080	
		自家労賃控除後総原価	円	1,300,239	1,237,746	1,237,746	-	1,300,239	1,247,957	
	価	販売牛枝肉1kg当り素畜費	円	1,545	1,158	1,158	-	1,545	1,536	
		販売牛1kg当り生産原価	円	2,625	2,128	2,128	-	2,508	2,625	
		自家労賃控除後総原価	円	2,534	2,309	2,309	-	2,534	2,474	
管 理	所 得	出荷牛1頭当り所得	円	197,294	130,781	143,531	-	130,781	197,294	
		肥育牛1頭当り所得	円	120,485	67,397	67,397	-	69,603	120,485	
		肥育牛1頭当り 補てん金受領額	円	34,207	10,507	34,207	-	11,880	10,507	
		肥育牛1頭当り 補てん金控除所得	円	109,978	33,190	33,190	-	57,723	109,978	
		所得率	%	6.0以上	13.6	9.1	10.3	-	9.1	13.6
成 績	安 全 性	支払利息対売上高比率	%	2.0以下	1.3	0.0	0.8	-	1.3	0
		減価償却費対売上高比率	%	5.0以下	5.6	0.3	1.1	-	0.3	5.6
	全 性	自己資本比率	%	50.0以上	99.1	46.6	59.0	-	46.6	99.1
		流動比率	%	200.0以上	9,300.9	302.5	1,758.7	-	302.5	9,300.9
		肥育牛1頭当り資産額	千円		1,513	981	981	-	1,028	1,513
		肥育牛1頭当り負債額	千円		549	14	402	-	549	14

養豚経営 1

区 分			指標値	最大値	最小値	經 営 体 番 号								
						1	2	3	4	5	6			
診 断 期 間						31.1.1 ~1.12.31	30.11.1 ~1.10.31	31.1.1 ~1.12.31	30.8.1 ~1.7.31	30.11.1 ~1.10.31	31.1.1 ~1.12.31			
規模	種 雌 豚		頭	163.1	44.2	163.1	103.1	101.5	92.8	69.2	44.2			
	種 雄 豚		頭	10.1	3.0	5.7	10.1	7.0	6.6	8.0	3.0			
技術管理成績	繁殖部門	種 雄 豚 1 頭 当 り 種 雌 豚 頭 数		頭	28.6	8.7	28.6	10.2	14.5	14.1	8.7	14.7		
		種 雌 豚 更 新 率		%	60.1	33.9	60.1	40.7	52.2	47.4	49.1	33.9		
		種 雌 豚 平 均 産 歴		産	4.2	3.5	3.8	4.2	3.6	3.5	3.9	4.1		
		分娩	1 腹 当 り 分 娩 頭 数		頭	12.0以上	13.8	11.3	12.4	13.8	12.1	11.3	13.4	13.0
			" 死 産 頭 数		頭	2.2	0.7	1.0	1.6	1.2	0.7	2.2	1.0	
			" 哺 乳 開 始 頭 数		頭	12.2	10.6	11.4	12.2	10.9	10.6	11.2	12.0	
			流 産 ・ 早 産 等 発 生 率		%	1.93	0.00	0.51	0.00	0.82	1.93	0.61	0.00	
		離乳	1 腹 当 り 離 乳 頭 数		頭	9.9以上	11.0	9.3	10.2	10.5	9.3	9.8	9.5	11.0
			平 均 哺 乳 日 数		日	24	30.1	22.5	22.7	23.5	24.1	30.1	22.5	27.0
			子 豚 1 頭 当 り 離 乳 時 体 重		kg	6以上	7.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0
			離 乳 時 育 成 率		%	90以上	92.5	84.8	89.5	86.1	85.3	92.5	84.8	91.7
		分娩間隔	離 乳 ~ 受 胎 平 均 日 数		日	12以内	22.9	14.2	14.7	16.7	15.6	14.8	22.9	14.2
			分 娩 間 隔		日	150以内	159.4	151.4	151.4	154.2	153.7	158.9	159.4	155.2
			年 間 回 転		回	2.43以上	2.41	2.29	2.41	2.37	2.37	2.30	2.29	2.35
		飼料	年 間 換 算 離 乳 子 豚 頭 数		頭	24以上	25.9	21.8	24.6	24.9	22.0	22.5	21.8	25.9
種 雌 豚 1 頭 当 り 年 間 換 算 給 与 量			kg	1,000	1,178	1,020	1,077	1,058	1,122	1,020	1,168	1,178		
種 雌 豚 1 日 1 頭 当 り 勞 働 時 間			分	4.5	9.9	4.9	4.9	6.8	9.9	5.6	7.4	6.7		
労働	肥 育 豚 1 日 1 頭 当 り 勞 働 時 間		分	0.5	1.0	0.4	0.4	0.5	0.8	1.0	0.8	0.6		
	出 荷 豚 1 頭 当 り 勞 働 時 間		時	5.5	2.5	2.5	2.5	3.1	5.5	4.2	4.8	3.2		

養豚経営 2

区 分		指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号								
					1	2	3	4	5	6			
技術管理成績	肥育部門	肉豚飼養規模	頭	1,514.0	456.9	1,514.0	954.7	919.4	768.2	602.4	456.9		
		種雌豚1頭当り肉豚出荷頭数	頭	22.8以上	24.0	18.0	21.3	22.1	19.3	20.1	18.0	24.0	
		増体	肥育開始時体重	kg	6以上	7.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0
			出荷時体重	kg	115	120.0	101.0	120.0	117.7	111.9	101.0	111.9	109.9
			増体量	kg	109	114.0	95.0	114.0	111.7	105.9	95.0	105.9	102.9
			肥育期間	日	161	171.4	138.5	171.4	143.9	167.8	154.9	165.8	138.5
		1日当り増体量	g	670以上	777	613	665	777	631	613	639	743	
		事故期間平均事故率	%	5以下	13.9	1.8	8.0	5.9	13.9	8.6	10.1	1.8	
		密度	肥育豚1頭当り飼育面積	m <sup>2</sup>		0.985	0.588	0.588	0.724	0.686	0.919	0.985	0.602
		出荷	枝肉重量	kg	75	78.6	66.5	78.6	76.6	73.6	66.5	73.4	72.9
枝肉1kg当り販売単価	円			521	467	521	516	504	467	510	513		
総出荷枝肉1kg当り格落ち金額	円		14以下	56.06	10.46	10.68	10.46	16.15	56.06	17.74	17.71		
上物	率	%	60以上	57.6	20.3	57.6	56.3	53.6	20.3	57.6	49.2		
飼料	飼料要求率	-	2.78	2.86	2.50	2.50	2.66	2.83	2.84	2.86	2.73		
経理管理成績	原価	離乳時	子豚1頭当り生産原価	円	9,268	6,559	6,724	6,999	8,472	6,559	9,268	7,908	
		"	総原価	円	9,628	6,493	6,493	7,596	8,394	6,569	9,628	7,856	
		生産原価	出荷1頭当り	円	34,788	28,637	28,637	30,155	34,053	29,466	34,788	32,639	
		出荷枝肉1kg当り	円	498	394	498	394	463	443	474	448		
	総原価	出荷1頭当り	円	40,859	30,225	30,225	37,385	38,132	34,383	40,859	37,529		
	出荷枝肉1kg当り	円	557	488	526	488	518	517	557	515			
	自家労賃	出荷1頭当り	円	34,480	27,874	28,823	32,508	32,453	27,874	34,480	32,611		
	控除後総原価	出荷枝肉1kg当り	円	501	419	501	424	441	419	470	447		
	所得	種雌豚1頭当り所得	円	162,685	52,896	72,980	162,685	90,470	64,523	52,896	115,434		
		肉豚出荷1頭当り所得	円	7,350	2,942	3,433	7,350	4,692	3,204	2,942	4,818		
肉豚出荷枝肉1kg当り所得		円	96	40	60	96	64	48	40	66			
期間1日当り所得		円	45,953	10,029	32,611	45,953	25,158	16,405	10,029	13,979			
所得率	%	10以上	18.4	7.9	10.6	18.4	12.6	10.3	7.9	12.9			
安全性	支払利息対売上高比率	%	2以下	2.2	0.0	0.5	0.0	0.0	2.2	0.8	0.0		
	減価償却費対売上高比率	%	10以下	9.7	2.6	5.8	5.9	4.5	4.7	9.7	2.6		
	肉豚出荷1頭当り支払利息	円	696	0	177	0	5	696	285	3			
	"	減価償却費	円	3,641	969	1,886	2,341	1,678	1,453	3,641	969		
	自己資本比率(期末時)	%	50以上	96.6	▲ 175.9	5.1	96.6	77.2	▲ 175.9	7.1	90.8		
	流動比率(期末時)	%	200以上	2,010	64	480	2,010	462	64	524	945		
種雌豚1頭当り固定負債額	千円	564	0	385	0	31	564	384	0				
種雌豚1頭当り負債額	千円	737	28	423	32	69	737	427	28				

## 令和元年度 畜産コンサルタント指導員

### 1 指導員の構成

常 勤	非 常 勤	合 計
5名	11名	16名

### 2 指導員名簿

#### (1) 常 勤

担 当 部 門	氏 名	所 属	資 格
総 括	中 林 大	公益社団法人新潟県畜産協会	獣医師 農学博士 農場 HACCP 主任審査員
	佐 藤 栄 治	公益社団法人新潟県畜産協会	総括畜産コンサルタント 畜産環境アドバイザー
	谷 川 昌 行	公益社団法人新潟県畜産協会	総括畜産コンサルタント 畜産環境アドバイザー 日商簿記3級
酪 肉 用 農 牛	佐 藤 紫 織	公益社団法人新潟県畜産協会	日商簿記3級 (公社) 全国和牛登録協会地方審査委員
酪 農	真 保 春 紀	公益社団法人新潟県畜産協会	日商簿記2級

#### (2) 非常勤

担 当 部 門	氏 名	所 属
経 営	/	新潟県農林水産部経営普及課
飼 養 管 理 ( 全 般 )	/	新潟県農林水産部経営普及課

担当部門	氏名	所属
飼養管理 (酪農)	吉田智佳子	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター
	相田謙一	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	奥木邦昭	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター酪農肉牛科
		新潟県妙法育成牧場
飼養管理 (肉用牛)	裾分久仁子	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	奥木邦昭	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
	長谷川庸輔	全国農業協同組合連合会新潟県本部畜産部畜産課
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター酪農肉牛科
飼養管理 (養豚)	近藤慎太郎	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター生産・環境科
飼料作物		新潟県農業総合研究所畜産研究センター生産・環境科
会計・経理	辻元幸男	株式会社日本政策金融公庫新潟支店農林水産事業融資課
	田村祐悟	新潟県農業協同組合中央会農業地域対策部農政営農課
	小山亮太	新潟県信用農業協同組合連合会リスク統括部
	野口健太郎	新潟県信用農業協同組合連合会融資部
	米山浩太	新潟県信用農業協同組合連合会農業部

## 新潟県畜産経営診断指導事業

### 事業主体

新潟県農林水産部畜産課

TEL 025-285-5511 (内線 2966) FAX 025-280-5010

URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/chikusan/1196698566592.html>

### 事業受託者

公益社団法人新潟県畜産協会

TEL 025-234-6782 FAX 025-234-7045

URL <http://niigata-chikusan.jp/>